



牛乳パックの資源化に取り組む子どもたち。売り上げの使い道も子どもたち自身で考える



二才までにやらなければ効果が薄い」との報告を受けました。元々都市計画が専門で、まちづくりが環境に直結していることはよく知っていました。同時にスウェーデンを視察し、環境先進国が実は第二次世界大戦後に工業国として公害問題に悩まされ、約四十年前に始めた環境教育で生まれ変わったことを知ります。「自然を愛する彼らが小さな自治体から地道に環境教育に取り組み、汚染で泳げなくなったストックホルム湾をよみがえらせたんです」。

環境教育が義務化され、消費者が環境に配慮したエコ商品を選ぶというスウェーデンにならない、「沖縄でも環境教育をやりたい!そのためには小学校から」との思いがふくらみま

す。タイミング良く、県教育庁が民間人等から校長を登用すると発表。さっそく応募を決め、校長に選任されました。

げんき 子どもたちは「沖縄の未来を変える力」



各学年向けの「環境ポスター」は6年生が手作り



海辺の観察や味噌づくりの中から、子どもたちに「考える力」を与える横山校長



那覇市立宇栄原小学校の横山芳春校長は、2004年に県内で初めて民間人等から登用された校長先生。招へい講師や教師による公開授業を積極的に実施し、授業を軸とした学校改革を行うほか、芸術や環境教育を盛り込んだユニークな運営を行い話題となっています。宇栄原小学校を訪ね、その取り組みを伺いました。

那覇市立宇栄原小学校校長
よこやま よしはる 横山 芳春 さん
1954年福岡県出身。大学卒業後、設計事務所を経て那覇市役所へ転職。在職中にプラット大学(米国)にて科学修士号(都市デザイン)・琉球大学にて博士号(都市計画)を取得。2003年、那覇市ゼロエミッション推進室長を最後に同市役所を退職。2004年4月、沖縄県初民間人等校長として那覇市立宇栄原小学校校長に就任。

げんき 地域に開かれた小学校は身近な所から環境教育を実践

校内に足を踏み入れて印象的だったのは、明るく清潔に保たれた校庭や教室。「子どもたちと一緒にゴミ拾いをするのが毎朝の日課」と横山校長。季節の花々やハーブが植えられた花壇、開放的なづくりの校舎、ガラス張りのオープンな校長室など、そのどれもが地域や訪問者に開かれたものとなっています。

げんき 環境先進国の環境教育で目覚めた、校長への道

那覇市役所職員だった横山さんが環境教育の必要性を感じたのは、那覇市ゼロエミッション推進室長時代。ドイツの環境視察へ派遣した市民から「環境改善のための環境教育は十

果が総合学習の時間に行われる三年生からの環境学習です。子どもたちは海岸で自然と触れ合ったり、買い物ゲームでゴミ問題を考えたり、食べ物から環境を考えるなどして、学年に応じた取り組みを実践しています。二〇〇五年三月には沖縄大学の指導・協力を得て、県内最初の学校版ISO14001の認証を取得しました。



愛する町のために、地域の元氣のために、一生懸命活動している人がいます。このコーナーではそれを「沖縄のげんき仕掛人」と呼び、ユニークな活動を応援していきます!

10000の子どもたちに10000の可能性

を理念に、個性豊かに学校運営



沖縄県広報誌 平成20年2月1日発行第33巻2号通巻389号

編集後記

今月の特集1は「生活習慣病」についてです。予防のためのポイントを皆さんはいくつクリアしていますか? 今年の目標に「脱メタボ」を掲げた私ははというと...4つ?いや5つ?(-_-) ...今年は8つすべてクリアした生活を送るよう心がけます。(R)

今年も早いもので、あっという間に2月になりました。2月といえば...そうです!プロ野球の春季キャンプです。プロの技術を間近で見てくださいと思います。野球がうまくなりなりたいなあ~(ノア)

企画・編集 沖縄県知事公室広報課
発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570
那覇市泉崎1-2-2
電話 (098) 866-2020

制作・印刷
株式会社エマインタープライズ
〒900-0006
那覇市おもろまち1-5-26
電話 (098) 868-9332



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中!



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中!